



2023年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社 七十七銀行
代 表 者 名 取締役頭取 小林 英文
(コード番号 8341 東証プライム・札証)
問 合 せ 先 執行役員総合企画部長 小林 寛
(TEL 022-267-1111)

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当行は、2023年5月12日開催の取締役会において、下記のとおり、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件につきましては、2023年6月29日開催予定の第139回定時株主総会において、ご提案申し上げる予定であります。

記

1. 配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (2022年5月13日公表) | 前期実績 |
|-----------|------------|---------------------------|------------|
| 基 準 日 | 2023年3月31日 | 同左 | 2022年3月31日 |
| 1株当たり配当金 | 50円00銭 | 40円00銭 | 40円00銭 |
| 配 当 金 総 額 | 3,735百万円 | — | 2,988百万円 |
| 効 力 発 生 日 | 2023年6月30日 | — | 2022年6月30日 |
| 配 当 原 資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

2. 理 由

当行は、銀行業としての公共的性格と経営の健全性維持等を考慮し、安定的な配当を継続していくことを基本方針としております。また、財務基盤の強化を前提として、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を2023年度まで30%を目標に段階的に高めていき、株主利益と資本効率の向上を目指していくこととしております。

上記の基本方針のもと、当期につきましては、業績等を総合的に勘案した結果、1株当たり期末配当金を、予想から10円の増配とし、50円とすることといたしました。これによりまして、中間配当金を含めました当期の年間配当金は、1株当たり90円となる予定であります。

また、次期の年間配当金につきましては、業績予想および配当性向を30%とする目標を踏まえ、1株当たり105円（うち中間配当金52円50銭）を見込んでおります。

引き続き、『「Vision 2030」～未来を切り拓くリーディングカンパニー～』に基づき、ステークホルダーの皆さまの期待に応える強固な財務基盤を構築し、適切な株主還元に取り組んでまいります。

(ご参考) 年間配当の内訳

| 基 準 日 | 1株当たり配当金 | | |
|-----------------------|----------|-------------|-------------|
| | 第2四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 当 期 実 績 | 40円00銭 | 50円00銭 (予定) | 90円00銭 (予定) |
| 前 期 実 績 (2022年3月期) | 27円50銭 | 40円00銭 | 67円50銭 |

以 上